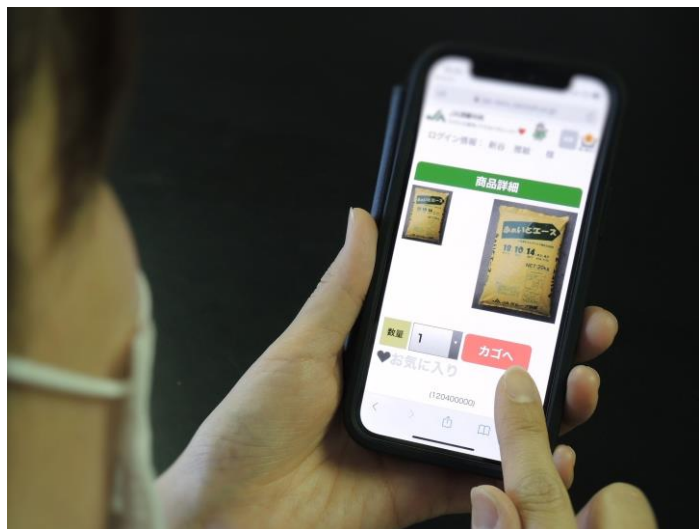




営農ウィークリーNEWS

※関西以西地域JAで初の取組スタート!

ねっとショップのご利用登録は、お済ですか?



経済部では、インターネットによる肥料・農薬の受注を2022年6月1日より開始しました。

近年の電子社会と担い手農家からの要望に対応するもので、利便性の向上を目的に導入を致しました。「ねっとショップ」システムは、全農が開発し、全農京都府本部が地域に適合するようにしたものを活用しています。

利用登録をしていただいた組合員の皆様がスマホや自宅のパソコンからインターネット回線を使用して、肥料や農薬の商品を専用のサ

イトから選んで、注文ができる仕組みです。

今後、肥料、農薬のほか、生産資材商品なども幅広く掲載を検討しています。

また、年1回の「肥料・農薬予約申込書」なども閲覧して予約申込ができるようにも改良していく計画をしております。

現在、肥料が高騰しておりますが、「ねっとショップ」からの受注をいただくとお買い得な価格設定(肥料のみ)をしております。是非、この機会にご利用ください。

お申し込み(利用登録)方法は、最寄りの経済センターの窓口又は、各エリア担当までお気軽にお問合せください。

※専用の利用申込書に必要事項を記入いただき、提出してください。登録完了のメールが届けば利用可能となります。

—TAC information—

イネミスソウムシ・イネドロオウムシ被害に注意!



イネドロオウムシ被害の様子

- ・「イネミスソウムシ」：成虫は、葉を食害し、幼虫は、根部を食害します。幼虫による被害が多い場合は欠株となります。
- ・「イネドロオウムシ」：成虫、幼虫ともにイネの葉を食害しますが、幼虫による加害が多く、食害が多い場合には生育が遅れたり、莖数が減少したりします。

山間地などで、どちらも低温で曇天が多い条件では発生期間が長引いて被害が大きくなりますので注意してください。

本田での防除は、「トレボン粒剤」を2~3kg/10アール当たり、散布してください。

水稻・トビイロウンカ飛来に注意しましょう！

2020年産米は、「トビイロウンカ」が西日本以南地域に大発生し、管内においても広域的に全域で過去に例がない程の甚大な被害が発生しました。

2021年は、管内では飛来数も少なく大きな被害は、発生しませんでした。が、今年も警戒する必要があります。

トビイロウンカは、中国から偏西風に乗って、7、8月に日本へ飛来し、9～10月に多発するので秋ウンカと呼ばれています。

トビイロウンカの成虫寿命は、約1ヶ月で、1頭の雌は、合計300～700個産卵します。成虫、幼虫がイネの株元付近で吸汁加害します。

出穂期以降に多発すると、急激に萎凋して枯れ、坪枯れ状態になります。



放っておくと、坪枯れの円が日に日に大きくなって、全枯れ状態になります。

トビイロウンカは、急激に増殖し、坪枯れが1日に50cm～1mの速さで円が大きくなっていくこともあります。

被害が大きくなってからでは、農薬も十分に効きません。

今後、田んぼの見回りを十分行い、発生初期から農薬散布することが大切です。



京都府病害虫防除所による予察情報などを参考にするとともに農薬による初期からの対策に心がけてください。